

# 医学部合格者 高校別ランキング

ここ数年の傾向にたがわず、2019年度の医学部入試（19年4月入学）も出願状況に過熱は見られなかった。それでも難関に変わりない医学部入試に「強い学校」は存在する。私立大医学部の女子の動向と併せてレポートしよう。

## 国公立大 医学部医学科 合格者数ランキング

順位	学校（所在地）	卒業生数	合格者数
1	◎東海（愛知）	427	115
2	◎灘（兵庫）	219	90
3	◎洛南（京都）	456	77
4	◎ラ・サール（鹿児島）	225	68
5	◎開成（東京）	401	65
6	◎甲陽学院（兵庫）	206	63
7	◎札幌南（北海道）	321	56
8	◎久留米大付設（福岡）	202	56
9	◎東大寺学園（奈良）	210	53
10	◎昭和薬科大付（沖縄）	207	53
11	◎愛光（愛媛）	229	52
12	◎大阪星光学院（大阪）	176	46
	◎四天王寺（大阪）	458	46
	熊本（熊本）	393	46
15	旭丘（愛知）	311	43
	◎洛星（京都）	209	43
	◎白陵（兵庫）	188	43
18	仙台第二（宮城）	311	41
	大分上野丘（大分）	317	41
20	◎桜蔭（東京）	228	40
21	◎駒場東邦（東京）	233	38
	富山中部（富山）	278	38
	◎滝（愛知）	355	38
	◎南山（愛知）	404	38
25	岐阜（岐阜）	353	37
	◎西大和学園（奈良）	336	37
	鶴丸（鹿児島）	315	37
28	◎北嶺（北海道）	123	36
	△広島大付（広島）	201	36
	◎広島学院（広島）	186	36

合格者数は既卒含む

校名の△印は国立、◎印は私立、無印は公立

（駿台の石原さん）  
医学部全体の志願者は微減でも、地方の国公立大は倍率が上がった。志願者が減少した難関大も、コアな層は残って少数激戦り。こうした状況を乗り越えて結果を出した医学部に強い学校を

19年度の国公立大医学部（医学科）の志願者数は対前年比98%で5年連続の減少となり、医学部人氣は落ち着いている。駿台教育研究所・進学情報事業部長の石原賢一さんは言う。  
「08年からの定員増で、国公立大医学部の定員は大幅に増えました。それが、これに見合うほど志願者は増

えていない。志願者減の要因は、好調な就職状況とともに、成績上位層が情報系の学問に魅力を感じていることが挙げられます」  
前期の出願状況を個別に見ると、東大や京大をはじめ、北海道大、東北大、名古屋大、大阪大など難関大医学部は軒並み減少し、志願者が増えたのは九州大や千葉

大などわずか。一方、弘前大、福島県立医科大、信州大、愛媛大、熊本大など、志願者が増えた地方の国公立大は多かった。

「難関大の志願者減は、確実に医学部に合格するため、無理をしない受験生が増えた影響。地方大学の志願者増は、安全志向に加え、大企業が少ない地方の成績上位層の受け皿が依然として医師であることも大きい」

# 不適切入試が断罪されて 女子校からの合格者が増加